

もりやま景況調査

令和4年4月～6月期

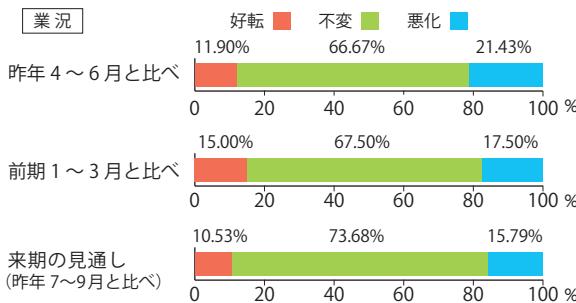


※DI (Diffusion Index (景気動向指数)) … 「増加」「好転」企業割合から「減少」「悪化」企業割合を差し引いた数値

DI 指数	30 以上	10 以上 30 未満	▲ 10 以上 10 未満	▲ 30 以上 ▲ 10 未満	▲ 30 未満
-------	-------	-------------	---------------	-----------------	---------

前回調査(令和4年1月～3月期)と比べて改善している。来期もやや改善の見通し。

業況

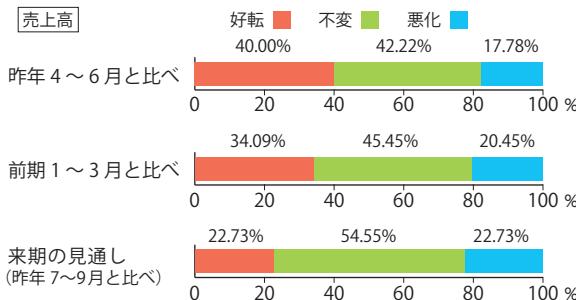


4～6月期動向	全体	▲ 9.5	
	小売業	▲ 58.3	
	製造業	20.0	
	建設業	12.5	
	サービス業	0.0	
	卸売業	0.0	

※業況DI (好転－悪化) は今期が▲9.5で前回調査の▲19.6から10.1ポイント改善
来期の見通しDI (好転見通し－悪化見通し) は▲5.3で、今期より4.2ポイント改善の見通し

前回調査(令和4年1月～3月期)と比べて改善している。来期は悪化の見通し。

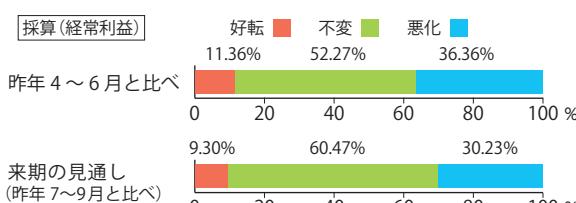
売上高



4～6月期動向	全体	22.2	
	小売業	▲ 8.3	
	製造業	33.3	
	建設業	25.0	
	サービス業	33.3	
	卸売業	50.0	

※売上高DI (好転－悪化) は今期が22.2で前回調査の▲14.6から36.8ポイント改善
来期の見通しDI (好転見通し－悪化見通し) は0で、今期より22.2ポイント悪化の見通し

前回調査(令和4年1月～3月期)と比べてやや改善している。来期もやや改善の見通し。

採算
経常利益

4～6月期動向	全体	▲ 25.0	
	小売業	▲ 50.0	
	製造業	▲ 10.0	
	建設業	▲ 25.0	
	サービス業	▲ 20.0	
	卸売業	0.0	

※採算(経常利益)DI (好転－悪化) は今期が▲25.0で前回調査の▲30.6から5.6ポイント改善
来期の見通しDI (好転見通し－悪化見通し) は▲20.9で、今期より4.1ポイント改善の見通し

コロナウイルスの影響などの意見

- 6月ごろは明るい兆しが見えていましたが、感染拡大に伴いキャンセルが増えてきています。
- 飲食店はコロナ禍で離れたアルバイトが別の仕事に就き人手不足傾向ですが、不安定なため戻ってきてもらうわけにもいかず今いる人材でやりくりしています。

- コロナで借りた資金の目減りと返済が重なってきて苦しい状況です。
- 材料費の高騰が収支を圧迫している。
- 原材料や燃料や梱包資材などほとんどが値上げでコストアップしているが需要がまだ戻っていないので値上げしにくい。
- 庶民は生活が苦しくますます僕約生活に入ると思う。

その他、調査結果の詳細については当所ホームページをご覧ください。

<https://moriyama-cci.or.jp/survey/>

